

3 敷地の構成

敷地割り 住宅の敷地は、街路に対して間口を広く、奥行を浅くする形式が一般的である。接道する敷地が多いが、一部に非接道型の敷地もあり、この場合、街路より支道を引き込んでアプローチとする。

各敷地は、その間に空地を設けず、密接する。塀ないし建造物の壁面により、相互に仕切る。敷地境は相互に入り込み、微妙な食い違いを見せる。これは、全面的に計画的な敷地割りや敷地境が施されたのではなく、複数度にわたる開発により順次敷地割りが施されていったことを示しているものとみられる。ただし、敷地背面については、食い違いを見せながらも概ね一本の背割り線が想定できる箇所が多く、街路からの奥行については、計画的なルールが存在していたことを読み取ることができる。

街路から引き込まれた袋小路によりアプローチする敷地については、街路沿いに計画的に設けられた敷地よりも、設定段階が遅れるものと考えられる。ただ、両者には敷地形状に大きな差はない。

20世紀中～後期に至り、敷地の統合、分割が少なからずおこなわれており、現状はその結果として、敷地境が入り組んだものとなっている。

敷地利用（主屋配置と向き） 敷地は、四周を塀及び建造物で囲い、中に広い庭をとり、外壁に沿って

主屋、別棟、炊事棟を配置する。主屋は、通常、敷地の北面ないし西面に置き、外壁が敷地境の一部をなす。

敷地内の建物配置に関しては、まず隣接家屋との関係が注目される。主屋は、隣接家屋と平行して配され、妻を接することはあっても、平側を接することはほとんどない。雨仕舞を意識した配置であろう。

つぎに、主屋向きを面的に見ると、ブロック単位で画一化していることがわかる。これは、ブロックが空間の基本単位となっていることを意味し、同時に、住宅相互で、主屋配置にルールが存在したことをも意味する。

街路との関係 建物配置は、街路との関係を持たず、むしろ方位に従っている。そのため、敷地の門の位置は必ずしも街路との関係を持たない。しかし、大まかにいって、主屋前庭の、主屋と対面する辺に敷地へのアプローチを設ける傾向が認められる。例えば、モンフー集落ソム XuiのNguyen Van Hang邸（II-074:92p参）では、街路から引き込まれる東西方向のアプローチ道路が、東西棟の主屋の直前に通

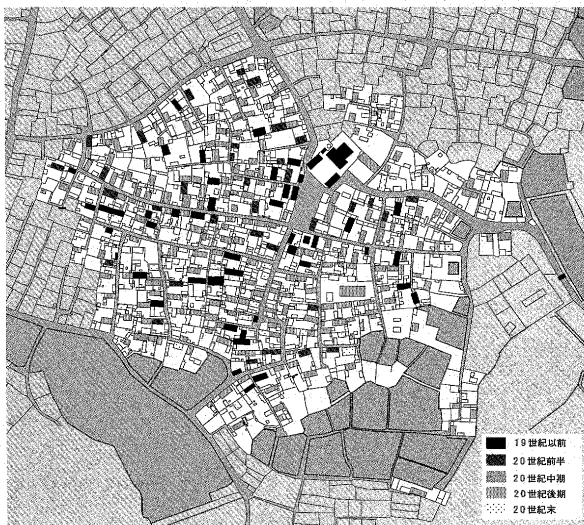


図5-13 モンフー集落の主屋建築年代

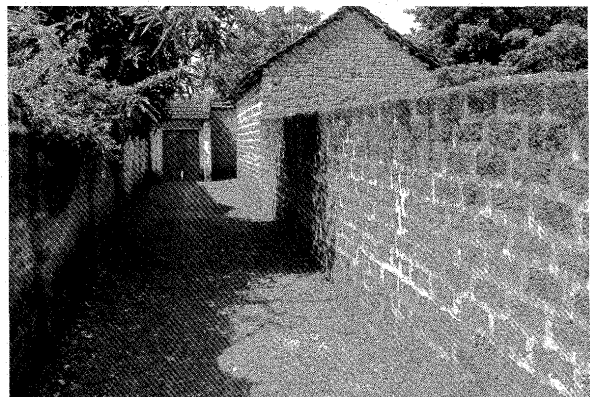


図5-14 袋小路よりアプローチする敷地



図5-15 住宅の敷地構成

されているが、前庭西面に植栽を設け、アプローチを南に迂回させている。すなわち、街路との関係よりも、敷地内における門、前庭、主屋の位置関係が重視されており、敷地内における完結性に重きが置かれていることが窺える。

敷地分割 モンフー集落では、敷地を分割して相続する、といったことはあまりおこなわれてこなかったという。むしろ、村外に土地を買って家を新築することが一般的であった。長男は両親と同居するため、新たな土地を用意する必要はなかった。

ただし、20世紀におけるスプロールに際しては、敷地が分割されたケースが多々存在する。実際、1棟の主屋を桁行に2分し、2家族が居住するケースも複数見られる。独立以降に、国家により土地が再分配された際におこった事象という。

敷地分割が施された例は、以上の他、敷地境の形状より想定できる箇所もある。とりわけ、ソム He の東西主要街路南側のブロックは、全面的に分割が進められたものとみられる。

同族集団の住宅配置 モンフーでは、4つの氏族が

住民の多数を占めており、集落内に分散的に居住している。各氏族の住宅は、現在は分散しているが、大きなまとまりを持っていることも読み取ることができる。

各氏族の居住地は、氏族の祠堂の所在地と関連している。藩族はデイン前広場西側、喬族は同東側の現人民委員会位置、江族はデイン前広場南端の東西街路沿い、何族はデイン前南北道路南端の東側にそれぞれ祠堂を持つ。デイン前広場と、集落の南の核となる位置に設けられた祠堂は、まず、各氏族の居住地の中心として置かれたものとみられる。

集落へは、藩族、喬族、江族、何族の順に、村に移住した、といわれている。各族の祠堂の位置が、この順に集落の中心であるデインに近く置かれていることからみても、この伝承は頷ける。

4氏族の住居は、藩族がソム He、ソム Xui、喬族がソム Hau、江族がソム Dinh、何族がソム Xui に多く見られる傾向がある。それぞれの族長も、これらのソムに居住している。元来は、各ソムが一つの族で形成されていた、という可能性も読み取ることができよう。(清水重敦)

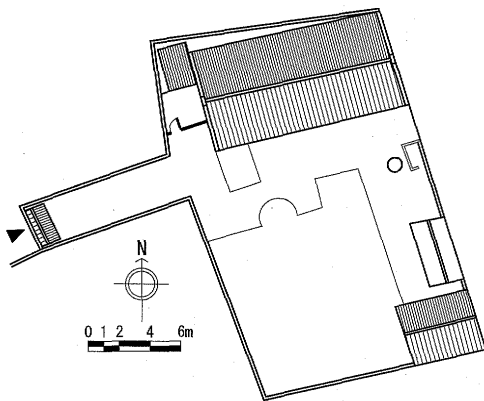


図 5-16 Nguyen Van Hang邸 配置図

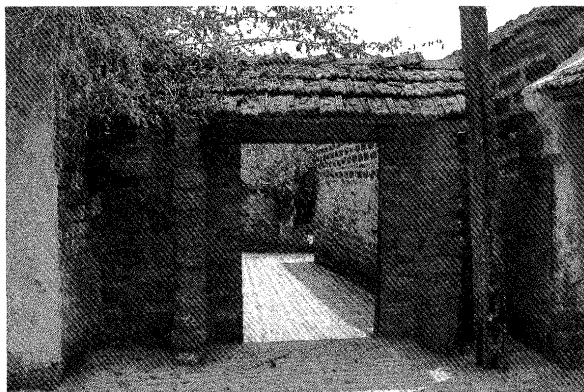


図 5-17 Nguyen Van Hang邸 門

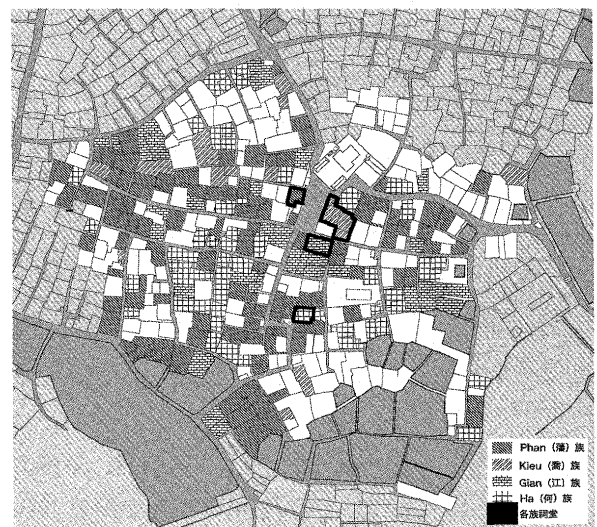


図 5-18 モンフー集落における族別の住宅配置